

常磐文藝

◇廿才の秋 希苦男

日落ちて野路の水邊にひとり微笑む野菊のすがた  
いじらしきかふ

吾が胸にひとり微笑む乙女  
女子はあはれいじらし野菊なるかも

虫の音の哀れとともに更くる夜はたゞ悲しかりひと戀ふる胸

ひと思ふ心の悲し秋の夜にいじらしきかなむせぶこほろぎ

過ぎ日の悲しき夢は美しき花につつまる今はうれしき

今宵みる夢のいかにと吾が胸はけさの花をぞ思ひうかぶる

亡き母の面影を追ふ寂し夜に月の光りは嬉しけるかも

いとしきは今はあへなき吾が母の慈みにも似る戀人の胸

白野菊たゞさびしかり秋の日のわが戀人の姿にも似て

吾が胸に面をわして泣くものこと思ふ夜ぞ生のうれしき

實質家の本位は  
平吉家 町田具部  
町田具部 町田具部  
通店部

電話三五二番



發行兼編輯人 川崎文治  
印刷所 常磐毎日印刷所  
本社下町番地(電話六三〇番)  
印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日四月一十

新品入荷 いたしました  
賣切れにならぬうちお求めを……

森永 試食用ビスケット  
高級品十種類購入……

一罐二十錢

ヤトモツマ  
番四一二電

公債 買券  
大正生命保険株式會社  
平代理店  
多田井質店  
平町大工町

便利と經濟の親玉

瓦斯で火をおこすには電氣の特賣の「瓦斯火おこし」に限ります。炭がくすれず取扱に便利でございませう。特價たつた金貳拾錢です。御家庭用の釘抜キ又は金鉋には「小松式四德金鉋」をおすすめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚かします。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化電、東洋電、大正電の御試用を願ひます。

どうぞ見るだけでも来て見て下さい

平停車場前 平電氣株式會社  
電機ト金物販賣部  
電話平四二八番

モーター  
電氣機械器具各種材料販賣  
電燈電力工事設計並ニ請負  
製作ハ日立製作所

販賣ハ磐城工業商會  
株式會社日立製作所特約店  
東京電氣株式會社特約店

器壓變とルト一モ  
すまじ致を理修の

目丁四町平線警常  
番八一一話電  
會商業工城磐  
助治佐村中

町平 町屋紺  
吉田眼科醫院

常磐論壇  
政治家の弄策 (一) 政界通人

我國三十餘年の政治の跡を回顧するもまた歐米諸國の經驗に徴するも今後はもつと正しい明るい政治を行はねばならぬと思ふ。之がためには煽動政治、金權政治、陰謀政治を斥け政界の低調なる氣分を高め陰鬱なる空氣を一掃しはれやかなるものにしたのである。立憲政治は責任政治である、言行伴はなければ價値がない、同時に道義の政治である、道義を無視したる權謀術策

は公明な政治の前には當然ほろぶる政黨一個の人格であつて金權や權力を以て動かす事の出来ない本領があつてほしい政權争奪のみに没頭し金錢のため其主張を二三にする様では公黨とは申されぬ動かすべからざる信條があつてこの政治もまた純化して行けるのである。政治は最大の國民教育である。政治の如何は國民の性格の上に大なる影響があり浮薄なる政治は國民性を輕薄ならしめ健全なる政治は國民性を剛健ならしめ日本國民は大國民たるの襟度風格を備へることに努力せねばならぬ、現今世界にわたける

大勢は保守的右傾思想と過激急進の左傾的思想との對立である之は自然政治上にも政黨の分野となつて看取されるのである我國では殊に新選舉法の實施に當り有權者の急激なる増加は各政黨の前に廣大なる無主の領土が展開された各政黨は此領土を占領せんがために新たなる政策の樹立に目も亦たらざる有様である用心をせぬと人氣取に焦慮煩悶する (つづく)

草野半天染部  
領受回数賞等一牌金  
町平園城磐  
工場染野草  
(番八四三話電)

各種 体温器  
寒暖計 関内藥局  
電話四〇〇番

齒科平町 森合齒科醫院

鐵道省 御指定 仙台高等工業學校 試驗證明

萬幸瓦  
萬年瓦工業株式會社  
福島縣四會町  
電話三八番

代價拾錢 藤田家傳  
藤田榮助  
平町電話三八番

冬服新荷着  
御氣に召す洋服が  
澤山揃ひました  
紺黒サージストスコ  
ツチメルトン三ツ組  
其他 立エリ上下  
學生服豊富  
磐城平町二丁目  
なかや洋服店  
電話二〇三番

### 齒並び自慢會の 審査長正式受諾

#### 具體案協議の結果

#### 賞金及び會期等を決定

本社主催齒並び自慢會の審査長として本紙讀者より最多数の投票を獲得した齒科醫原精一氏に對する審査長囑託の  
交渉は 屢報の如くにて本社よりの交渉に接せる原齒科醫よりは考慮の上諸否如何の確答を爲すべしとの事であつた爲め其回答を待つた處今朝改めて審査長を承諾せる旨の確答に接し本日午後一時川崎本社社長は同醫院に原院長を訪問し正式に囑託の手續を踏み茲に

#### 審査長

を始めて決定するに至つた爲め催しに就いての具體的協議に移り會期は来る十五日の日曜日を選んで當日午前八時より午後三時迄を審査時間と爲して直ちに優勝者に對し一等十圓、二等八圓、三等五圓、四等三圓、五等一圓の賞金及び

#### 副賞品

を夫々授與する事に決したが更に本社は此催しを機會として多數公衆の爲めに有意氣な計畫を實現すべく来る六日夜の急行にて原審査長並びに川崎本社社長が上京する事となつた

川前校長 奉安庫 石城

の内特選が六點でありましたから私から申するも變てすか木彫第一位の榮冠を得ましたわけで自らながら意外な事です此度の歸省も實は近親の者にも友人にもウソと喜んで戴き度いからの

### 一萬五千圓の靴を 強奪した二人兇賊

#### 實は平署の捕賊演習

東京カキガラ町株式仲買商村中春吉(四七)が今朝の急行に乗るべく平驛待合室にて休んで居た際、二人組の男が一萬五千圓在中の靴を強奪したとの急報に接し平署にては夜半管内七十五名の警官を非常召集し非常線を張つて捜査の結果二丁目南裡にて松岡白水駐在巡查及び渡邊川前駐在巡查が格闘の末逮捕したとの事であつたが實は平署の捕賊演習で午前五時櫻村署長の講評あり終つて午前七時から一同慰安會を開き擊劍の猛練習を爲して散會した

### 川前の紅葉

#### 見頃は十日

磐越東線の小川郷、川前驛間における風光は東北屈指の勝地で鐵道開通以來年々採勝の客を増加してゐるが夏井川の溪流を差挟む峰巒の大自然美の中に夏の躑躅と秋の紅葉が最も優麗で殊に同區間非田信號所附近里餘にわたる山水明媚は本邦にも稀に見る秋色と稱せられ昨今漸く樹々の梢に霜紅を止めて川前驛は那々秋の賑はひを呈して來た昔深く登る岩角と斧を知らぬ老翁に切つておき残り半分は軟くゆでつぶしておききくらげは水に浸して軟くなつたのを干切りにして、柿は小により刻み梅干はざつとゆで、裏ごしておきます、次に梅干とこした栗を砂糖と混ぜ合せ、湯五勺位を加へゆるめた中に前の柿、焼き栗きくらげを入れて和へます

### 天才彫刻家 赤堀氏歸省

#### 廿二日入選

#### 以來四回目

警陽の生める天才彫刻家として今次の帝展に特選の榮譽を得たる赤堀新平氏は閉を得て來平日下實兄なる平町鍛冶町國府田直良氏方に在滞中であるが力作「地に立ちて」特選の祝辭に對し皆様のおかげさまで「六十點」なきを見せて語る「六十點



庭家

### 栗の共利

材料中栗五合、きくらげ五勺、梅干五個、柿三個、砂糖十匁、醬油大サジ一杯、鹽少、栗の半分は焼き栗として二つ位

### 平第一校の 驛傳競走

#### 四倉平間を 本日決行す

平第一小學校にては体育奨勵宣傳の引き續きとして本日四倉、平間の驛傳競走を試みた先づ尋常五年生以上の選手四十八名を八組に分けて同所間十一ヶ所に配置し午前十時を合圖に四倉小學校門前からスタートを切り沿道應援隊の援を浴びつ第一着の紫組は四十八分十秒にて平第一校に到着第二着は橙組の四十九分十四秒其後も順次到着午前十一時無事終了した

### 自動軌道運轉

#### 湯本小名濱間

石城郡湯本小名濱間六哩の磐城炭礦經營に係る現在の馬車軌道を石油發動機關車に變更の計畫で客貨兼用の大型車輛四臺を購入せるは既報の如く此程試運轉の結果果好成绩を得たので同礦から許可出願中であつたが去卅日附出願の通り許可され運轉を開始した

### 生徒の薪採り

石城郡川前村の桶賣小學校では同校生徒「使ふ冬期ストーブ用の薪木を去廿六日から四年生以上を以て職員指揮の下に學校植林地より伐採

松の間に萬樹の紅葉を點綴する見盛りは来る十日以後であらうが恰度其頃を見計らふ觀楓會は既に幾組かを數へられてゐるから氣遣はれるは天候ばかりそれが良ければ大した賑はひだらう

### 農村振興に 副業の改良

#### 郡衙が力コブ

收穫の秋が來て農家はこゝしはらくの處繁忙を極めるがそれが過ぎると霜枯れの農閑期に入るので農家の副業も追々活氣を呈して來るがこれに對する郡當局の意向をきく、特に力をこめて奨勵すべく計畫してゐるのは最近著しく進歩の域にある竹細工の製産販賣組織の助成と竹細工品の改良を目的とする講習會の開催果樹苗木の配布等であるが草履表や竹細工の優良品を産出するに、はらずこれが販賣法についてはまた考究改善すべき點が數々あると思ふ即ち生産と販賣とが兩々相まつて進まなければ豫想的な飛躍は望まれない次第で各當業者の協力一致が肝要だと思ふから着々これが實現を期すべく計畫中である

### 募集

#### 交際其他投稿 を募集します

#### つゝ最後の夢を結んだ 平町人事

宮に向ふ、熱い陽に照らされながら美しい眞砂の参道の上を歩み明治神宮を参詣し寶物館を拜觀す壯麗な氣分は忽ち喧騒と變り株式取引所の實況を見學し更に三越呉服店を縦覽した、名は呉服店なれども歐米のデパートメントストアに似て現代流行の粹から日用品家具まで何一つとして無いものはない、「僕も成功の曉には……」大抱負を語る事流石に唯三三三越から三三五五旅舎に至る、最も感謝に堪へないのは在京諸兄が終日市内案内に親切の限りを盡し宿に於いては訪ねて旅の觀談を賑はしてくれて事である、特に東京支部長の大和田牛音氏には早々から宿に訪ね茶菓を備へては遊子を夜おそくまで懇ろに旅情を慰めて呉れ吾が商友會東京支部の進展と將來の抱負の一端を紹介し社會の窓より眺めたる吾等の前途など戒めてくれた、こうしてた事がやがて活社會への前途を想像しては鋭い刺戟をうけ感謝の辭を捧げ

#### 出生

△堂の前一 馬目亮明氏長女初江  
△紺屋町三 稻川春吉氏二女照子

#### 婚姻

△材木町三〇 舊具職小管龍三郎氏  
(四〇)石城郡飯野村 大橋サタ子  
(二六)